

訪問の流れ かんたん3ステップ

①申込

施設名、連絡先、希望日時、内容等を電話でお知らせください。※講義を希望される場合は、希望日の1か月前までにご連絡ください。

☎083-933-4450

訪問申込書に必要事項を記入し、メールにてご送付ください。※鑑は不要です。

✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

訪問申込書



乳幼セWebページから取得できます。

申込が希望日の直前となる場合、ご希望に添えないことがありますのでご了承ください。

②決定

乳幼セが、アドバイザー等と日程を調整し日時が決定したら、訪問決定通知を送付します。
※内容によって、アドバイザー等と直接打合せいただく場合があります。

決定までに数日お時間をいただくこともあります。

訪問

※乳幼セの職員が同行させていただきます場合があります。

③アンケート送付

今後の訪問支援の充実の為、アンケートにご協力ください。

回答方法

・Microsoftフォーム



アンケートフォーム

皆様のお声をお聞かせください♪
今後の参考にさせていただきます！

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター
令和8年度

アドバイザー訪問の手引き

保育現場におけるいろいろな悩みや思い…
そうだ、アドバイザーに聞いてみよう！

全ての子どもたちの
より良い日々を
支えるために！

よりよい保育実践に向けて、
乳幼セアドバイザーが
サポートします！

より良い
保育環境のために！

スクールソーシャル
ワーカーと一緒に
訪問することも
可能！

保幼小連携に
関することなら
小学校にも
訪問できます！

山口県乳幼児の育ちと学び支援センターって？

乳幼児期の教育及び保育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、その更なる質の向上を図るため、国公立・私立や施設類型の区別なく、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点として山口県庁15階に設置されました。

アドバイザー訪問ってなに？

乳幼児期の教育及び保育、福祉に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する「幼児教育アドバイザー」「専門分野に係る幼児教育アドバイザー」が、保育所・幼稚園・認定こども園等からの要請に応じて、訪問支援等を行います。

どうやって申し込むの？

乳幼セまで
気軽にお電話
ください！
083-933-4450

訪問日可能日について

今年度は、令和8年4月10日～令和9年3月12日までの原則平日9時から17時です。(その他、ご希望がありましたらご相談ください。)

費用について

旅費等の費用の負担はありません。2回目以降も負担はありません。

準備物について

特に必要ありません。訪問当日、保育の流れや子どもの様子をお聞きすることがあります。講義形式の場合、パソコン、プロジェクター、スクリーンを使用する場合があります。(施設に無い場合は乳幼セが持参します。)

研修時間や受講人数について

ご希望をお聞きします。全職員で講義や協議に参加したいけれど、一度に受けられない場合、日にちや時間を変えて同じ内容で行うことで、全員で参加できます。

内容・進め方について

内容のご相談も受け付けています。下記まで気軽にご連絡ください！



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

〒753-8501 山口市滝町1-1 (県庁15階)

✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

☎083-933-4450



NYUU.YOUSE4450

幼児教育 アドバイザー（AD）

乳幼児期の教育及び保育に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する者です。保育所や幼稚園、認定こども園の施設長等、現場経験豊富なアドバイザーや、小学校、特別支援学校や保育者養成校での勤務経験、臨床心理士の資格を持っているアドバイザー等がいます。



おおもり ようこ
大森 洋子

国公立幼稚園に長く勤務し、主体性を大切にする保育を追求してきました。親も子ども先生も「その人らしく輝く」が目標です。



ささき かずみ
佐々木 和美

長年の現場経験を活かし、現在は大学で講義を行っています。保育者の知識技能を活かす実践力について一緒に考えましょう。



てらだ ひろえ
寺田 弘枝

保育現場を30年以上経験し、現在は保護者や職員のサポートをしています。皆が輝けるようなサポートを大切にしています。



にしかわ まりこ
西川 麻里子【特別支援】

小学校在職時は、支援の必要な子どもに関わっていました。配慮の必要な子どもへの対応について一緒に考えましょう。



はやし かずこ
林 和子

公立園長等を経て、吉敷愛児園保育・幼児教育アドバイザーとして勤務。子ども・保護者支援を共に考えていきましょう。



もりみつ めぐみ
盛満 恵

週3日常勤のアドバイザーです。園訪問等で皆さんの意欲に励まされています。プラスに向かう対話を大切にしています！



こんどう きみ
近藤 公【特別支援】

特別支援学校や小学校での勤務経験を活かして、特別な配慮を必要とする子どもの保育に関する助言ができます。



たなか こうじ
田中 浩二

保育現場と保育者養成の両面に携わっています。保育のあり方や保育現場で求められることについて一緒に考えましょう。



ながやす やすのり
長安 康憲【特別支援】

公立学校在職時には、様々な相談支援の場を経験しました。子どもたちの笑顔のため、お役に立てたらと思います。



にしやましのぶ
西山 忍

保育園園長です。子ども達が、職員が、保護者がいきいきワクワクするにはどうすればよいか、一緒に考えていきましょう。



はやし ちえこ
林 智恵子

公立幼稚園、行政、現在は幼児ことばの教室に勤務しています。“みる・きく・一緒に考える”を大事にしています。



よしだ よしこ
吉田 佳子

遊びの中の探究心や国際的な視野を大切にしています。一緒に、子どもたちのキラキラした成長を支えていきましょう！

専門分野に係る 幼児教育アドバイザー（専門AD）

乳幼児期の教育及び保育に関する、専門的な知見を有する者です。園内研修や研修会の講師として、講義・演習がメインのアドバイザーです。



研修内容	分野名	名前	講義内容例	
食育・アレルギー対応	食育	塩田 博子	○食育の進め方 ○子どもの食生活	
		水津 久美子	○食物アレルギー対応	
特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援	言語聴覚療法	中津 愛子	○子どもの言葉を育てる ○子どもの難聴 ○言葉の発達が気になる子どもへの関わり方	
	行動支援	宮木 秀雄	○ポジティブ行動支援 ○子どもの問題行動への対応 ○発達障害のある子どもへの支援	
	作業療法	濱本 尊博	○子どもの運動機能 ○生活動作の獲得 ○発達特性のある子どもへの支援 ○感覚統合を促す遊び	
	障害のある子どもと家族支援	藤田 久美	○障害のある子どもの保育とクラス運営の方法 ○発達の気になる子どもの理解と家族支援	
	多文化共生	當房 詠子	○外国にルーツがある子どもの理解 ○多国籍家庭への支援	
保健衛生	小児看護	家入 裕子	○感染症予防 ○手洗い指導	
		小迫 幸恵	○病気への対応 ○応急手当	
災害時の判断と行動	防災	坂本 京子	○近年の気象災害と防災情報の活用 ○園での防災対策と防災訓練のあり方	
保護者支援・子育て支援	保護者・家庭支援	平田 睦美	○保護者に寄り添う支援 ○保護者や家庭支援の方法	
マネジメント	園運営・人材育成	水津 玉美	○働きやすい職場環境づくり ○子どもが輝ける職場環境 ○新人保育者の育成 ○各園の要望に合わせた園内研修づくり	
乳幼児保育・幼児教育	ICT活用	高下 正明	○保育での効果的なICT機器の活用	
	子どもと環境	重村 美帆	○乳幼児期の環境 ○乳幼児期の発達 ○乳幼児期の遊びの見取り	
	子どもと健康	青山 翔	○乳幼児期の体力・運動発達の特徴 ○明日から使える運動遊び	
	乳幼児心理	大田 紀子	○子どものあそびと心理発達 ○子どもの想像力やファンタジー	
	表現(音楽)	永田 実穂	○子どものリズム・楽器あそび ○子どもの音楽表現	
	表現(造形)	森下 嘉昭	○子どもの造形あそび ○子どもの制作	
	保幼小連携・地域連携		川崎 徳子	○カリキュラム作成についての助言
			佐伯 公夫 中邑 至道	○保幼小連携体制の構築 ○地域との連携

こんな思いはありませんか？

- 子どもが主体の保育について考えたい
- 子ども理解を深めたい
- 子どもの育ちについて保護者に情報提供したい
- 園内研修を充実させたい

訪問の要請

こんな形で支援しています！

- 講義・協議
園全体で
少人数で
- 講義・相談・助言
保護者を
交えて
条件・施設の
職員が同席
- 振り返り・相談・助言
少人数で
個別で

訪問例①保育参観

- 9:30 打合せ
- 9:40 保育参観
- 10:20 振り返り
- 11:30 終了

子どもの様子や今までの関わり、見てほしい視点などを共有します。

保育者のよいところを認めながら、振り返ります。子どもとの関わり方、環境の整え方、保護者への伝え方等の提案をしながら一緒に保育について考えます。

訪問例②講義

- 13:30 講義
- 14:30 質疑応答
- 15:00 終了

依頼のテーマや内容に合わせて、形式や時間等を調整できます。

指導案を書いたり、特別に環境を整えたりする必要はありません！
日頃の保育や子どもの様子を見せてください。

※訪問が1日に渡る場合は、アドバイザー等が持参した食事を取れるスペースをお願いします。

SSW訪問の手引きはこちら

幼児教育アドバイザーとSSWと一緒に訪問し、手立てを考えることもできます！

講義例

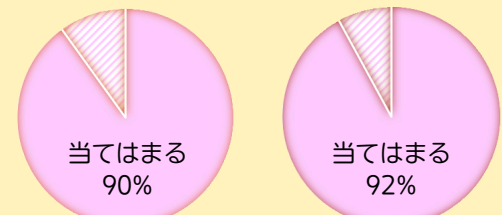
- ・安心安全な園づくりについて
- ・子どもの権利擁護について
- ・特別な配慮を必要とする子どもとの関わりについて
- ・保護者との関わりについて
- ・保幼小連携について 等

訪問例

- ・主体的な活動を促す環境について
- ・気になる子どもとの関わりについて
- ・子どもへの言葉かけについて
- ・乳児保育と関わり方について
- ・環境構成やクラス運営について 等

<R7 訪問施設アンケートより (R8.1.31時点)>

ねらいが達成できた 役に立つ内容であった



○日頃の保育を振り返るきっかけになり、気持ちのゆとりを持って、学んだことを実践していきたいと思った。
○保育をする中で悩んでいたこと困っていたことを相談することができ、自分の気持ちが少し軽くなった。
○幼児教育・保育の重要性や遊びの意義、小学校教育への接続（つながり）を具体的に分かりやすくお話しいただき、勉強になった。

年間を通して訪問依頼をいただいている施設もあります！

訪問は基本的に平日の9:00~17:00の間です。休日は要相談です。

